

子を望む夫婦の光に

「陣痛が始まった。ぎよつ、あ
すに生まれそうです」。2009
年3月、愛知県の社会福祉士から
電話を受けた森崎千春さん(42)、
麻紀さん(39)夫妻=越前町=は、車で同県の産院へ向かった。
「無事に生まれますように
…」。夫妻が祈る中、赤ちゃん
さんは、子どもを育てられない
さんは、子どうもを育てられない
事情がある女性を妊娠中からサ
ポートし、出産前から里親を探
して、特別養子縁組につなげる
「赤ちゃん縁組」の第一人者だ。
森崎さん夫妻は、矢満田さん
から「あなたたちも親になれる」

ん(81)に会ったこと。矢崎田さんは、子どもを育てられない事情がある女性を妊娠中からサポートし、出産前から里親を探して、特別養子縁組につなげる「赤ちゃん縁組」の第一人者だ。森崎さん夫妻は、矢崎田さんから「あなたたちも親になれる」

家族の形

- 1 -

きっかけは越前市であつた講演会で愛知県の児童相談所元職員の社会福祉士、矢満田篤二さ

生母が育てられない赤ちゃんの多くは、産院から乳児院に行き、3歳になると児童養護施設

「赤ちゃん縁組」という選択



森崎夫妻と元気に暮らしている悠貴君(手前)
と晴斗君(奥中央)=越前町

に移る。愛知県の児童相談所では矢満田さんらを中心に、82年度から2014年度までに赤ちゃんと縁組を183組仲介。里親の77・0%が生後15日までに新生児を引き取っているといふ。矢満田さんは「赤ちゃんのうちに、森崎さんのような家庭で育てられる方が幸せだ」と話す。

び矢満田さんの仲介で、森崎さん親子3人は、親が育てられない子を預かる「こうのとりのゆりかご」（赤ちゃんボスト）を設けている熊本市の慈恵病院に向かつた。再び子どもを授かり、「晴斗」という名前の家族が人増えた。「お兄ちゃんになりたい」という悠貴君の言葉が主妻の背中を押した。

れて生まれてきた一の命が
森崎さん一家を照らしている。

× × ×

子どもを産んでも育てられない親と、子どもが欲しいと願う夫婦をつなぐ特別養子縁組。血のつながりを超えた親子の絆や、児童養護施設の取り組みを紹介し、家族の在り方を考える。

す。
※次回から社会面に掲載しま
(堀英彦)

ちゃんと一緒に自己へ戻ってきました。「ずっと尊い存在」との思いを込めて、千賀さんが付けた名前は「悠貴」。生母は感謝しながら、その名を出生届に記入した。そして4年後の13年5月。再び2年ほど前から、麻紀さんは毎朝夕、近くの神社に手を合わせに行く。「子どもがけがや病気をしませんようにー」。望ま

お風呂の中で、森崎麻紀さん(39)は越前町では、小学校の入学を控えた悠貴君と向き合った。

「お父さんとお母さんには赤ちゃんがいなくてね。病院から電話があつて、悠貴を迎えて行ったんだよ」。2015年1月、血のつながった親子ではないことを打ち明けた。

悠貴君は13年5月に弟の晴斗(はやと)ちゃんを迎える際、「こうのど

んや」。それ以降、態度に変化はない。

特別養子縁組をした親には、子どもの真実告知というハードルがある。縁組を知られるこ

家族の形

- 2 -

福井の特別養子縁組

りのゆりかご」(赤ちゃんボスとを恐れ、引っ越す家族もいる。ト)を設けている熊本市の慈恵子どもに話すタイミングを失い、病院と一緒に歩いて行った。だ悩みを抱える親は少なくない。

■ ■ ■

からか、真実を告げても「赤ちゃんは病院が産むもの」と、思い込んでいたようだった。別の日、誤解を解くために「悠貴は違う人のおなかから生まれてきたんだよ」と伝えた。悠貴君は深刻な様子もなく「そうな

とを恐れ、引っ越し家族もいる。子どもに話すタイミングを失い、病院と一緒に歩いて行った。だ悩みを抱える親は少なくない。

森崎さん家族の仲を取り持つた愛知県の社会福祉士、矢満田篤二さん(81)が行う「赤ちゃん縁組」の誓約書には「養子に迎えたわが子には生みの親と別れた経緯を知る権利があることを

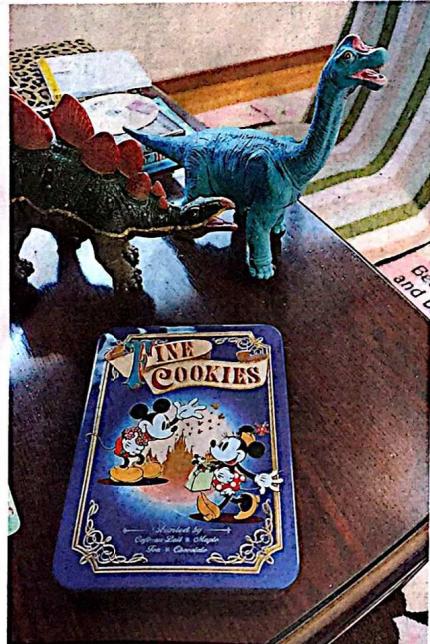
お風呂の中、自然体で

理解し、将来、適切な時期を選んで(中略)真実告知をする」との項目がある。矢満田さんは「いずれ子どもは真実を知る。思春期を迎える前に、告知をした方がいい」と話す。他人から知られたときのショックは大きく、親への不信感につながる

一方、麻紀さんは真実告知を森崎家の2階の一室。麻紀さんのドレッサーの引き出しに

「特別な」と思っていない。だから「自然の会話の中では、当たり前のことのように伝えたかった」。お風呂を選んだのも、そんな理由。夫の千春さん(42)に相談することもなく、自然の流れで悠貴君と裸で向き合った。

■ ■ ■



へその緒や母子手帳、手紙などが納められている小箱=越前町

千春さんに紙で作った花をプレゼントし、耳元でこうささやいた。「僕たちを大事に育ててくれてありがとう」。千春さんは「新米の親だけど、育て方が間違つてなかつたのかななど、涙がこみ上げてきた」と振り返る。悠貴君は4月から小学2年生。麻紀さんは「子どもが一番で、自分は一番。親として、いろんな経験をさせてくれる一人に感謝している」。晴斗ちゃんを含めた家族の絆は、揺るぎない。

(堀井彦)

は、ミッキーマウスが描かれた小箱が入っている。中には一人の子どものへその緒や、母子手帳などに加えて、悠貴君の生母の手紙が納められている。

「大きくなつた悠貴君へ」から始まり、自分が育てられなかった理由や、森崎夫妻に託したことなどが書かれている。悠貴君は手紙のことを伝えており、麻紀さんは「本人が読みたいと言えば、読んであげようと思つ」。あくまで自然体だ。

15年3月の卒園式。悠貴君は

大学の卒論テーマは「乳幼児期の里親委託体制」。0~2歳のなるべく小さいうちから、家庭で里親に育てられることが、子どもにとっては望ましいという観点だ。自分自身を振り返ってみても、そう確信できな。

福井市出身の近藤愛さん(23)は昨年4月、京都市の同志社大学院に進んだ。社会福祉学専攻で、児童福祉などの研究に取り組む。

家族の形

福井の特別養子縁組

- 3 -

がら、血のつながった親子でないことも、生みの母は「くなつた」と伝えた。「他人から言われたら傷つく」と思ったからだ。

「ママなんて大嫌い！」。手をひきほどいて走りだした愛さ

自分の生き立ち重ね

てくの母の顔はいつも文恵さんと同じで心の整理がついた。全てを中学生のときに告知されていだった。

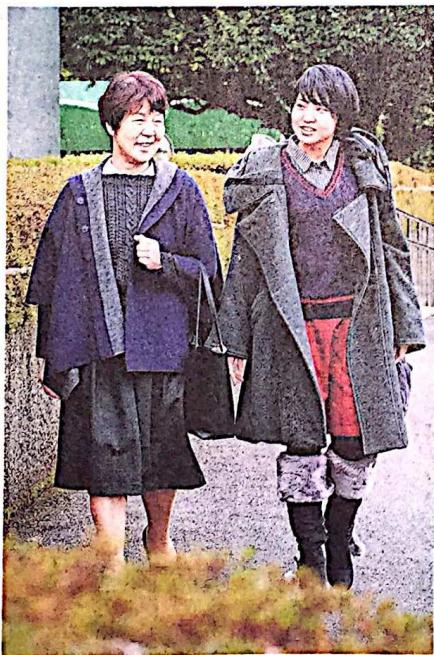
一本当の「ことを伝えるのは今だ」。文恵さんは、生みの母はたら道をそれでいたたら受け入れられた。

今も生きていて、愛さんを愛して産んでくれたけれど、育てることができなかつたのだと、打ち明けた。

「児童福祉の道に進みたい」。愛さんは高校2年のときに、文恵さんに伝えた。文恵さんから

愛さんは今、笑いながら振り返る。「5歳のときと中学生と、大きくな回に分けて知られる「生き立ちと重ね、正しい判断ができるなくなる」と反対されたが、「私だからこそ、子どもの気持ち

A vertical photograph of a person from the side, facing right. The person is wearing a grey, textured coat over a red vest with a subtle pattern. They are also wearing light-colored shorts and dark socks. The background shows some greenery and a wooden fence.



1月
福井市

大学院で児童福祉を学んでいる近藤愛さん(右)と文恵さん

が分かる」と意思は固かった。
県内で乳児院や児童養護施設に預けられている子どもの数(2014年度)は184人。対して里親に委託されている子どもは19人で委託率はわずか9・4%にとどまる。

愛さんは言つ。「家庭で育つと『母が今疲れているな』とかがすぐ分かる。自然と、いたわりや気遣いを身に付ける。乳児期に里子として家庭に入る事が子どものためだと思う」。家族で出かけても、文恵さんの重い荷物をぎりぎり持つのは愛さんだ。

文恵さんの考えも同じ。「赤ちゃんとして受け入れたから、実子と分け隔てなく育てられ、本当の親子になれた。かわいさは、血のつながりやおなかを痛めて産むことは全く関係がないことを家族全員が知った」と話す。

「おいしいものがあるよ」と午前中に文恵さんがメールをすると、愛さんは決まって夕方に帰りつて迎えてくれる場所」だという。

18年前。西畠宏子さん(52)は

坂井市丸岡町では、生後1年に

満たない女の子、飛果ちゃんを

県内の乳児院から里子として迎

え入れた。

乳児院には飛果ちゃんといつも

一緒に遊んでいた同じ年映えの

「Aちゃん」がいた。ぐらぐり眼

でかわいくて、西畠さんは飛果ち

ゃんを自宅に引き取る日、Aちゃ

んに洋服をプレゼントしたほど

だ。Aちゃんは、実の母親に引

れなくなつて大声で泣いた。
■ ■ ■
昨年10月、10代の孫が産んだ
乳児を殺害したとして、殺人の
罪に問われた70代女性の判決公
判。「懲役3年」が言い渡され

救える命ひとつもある

家族の形

- 4 -

福井の特別養子縁組

き取られることになっていた。

Aちゃんの死を知ったのは、

小学校に入学する飛果ちゃんの

制服姿を見せて乳児院を訪

れた時だった。「Aちゃんは元

気でやっているかなあ」。ふと

思い出し、顔見知りの職員に話

された時だった。「Aちゃんは元

気でやっているかなあ」。ふと

思い出し、顔見知りの職員に話

された時だった。「Aちゃんは元

気でやっているかなあ」。ふと

思い出し、顔見知りの職員に話

した。厚生労働省によると、200
3年7月から14年3月まで、
心外で虐待死した児童数は
582人。年齢別では0歳が2

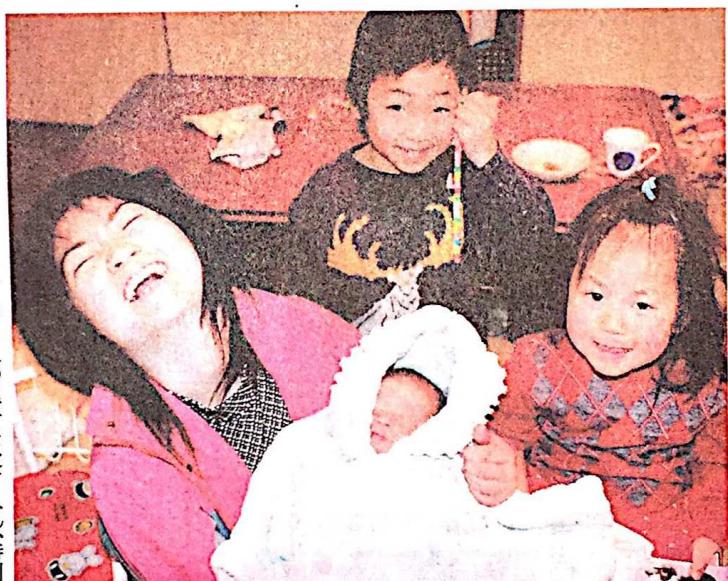
た福井地裁の傍聴席に西畠さん
はいた。県里親会会長も務める

西畠さんは「自分たちに何かで
きることはないのか」との

思いがあったからだ。

同年2月には、県内の河川で
生後間もない乳児の遺体が見つ
かり、10代の母親が容疑者とし
て逮捕された。

厚生労働省によると、200
3年7月から14年3月まで、
心外で虐待死した児童数は
582人。年齢別では0歳が2



西畠家の4人の子どもたち。飛果ちゃん(左)は現在19歳になった=2007年

56人で全体の44・0%を占め
る。中でも多いのは生まれたば
かりの生後0カ月という。

Aちゃんの死で「何かが吹っ
切れた」という西畠さんは現在、19
歳になった飛果さんをはじめ4

人の里子を受け入れ、特別養子縁
組を結んでいる。今でも夜は、一
つの部屋に西畠さん夫婦と4人
の子どもが一緒になって寝る。

震わせ、犯行の動機をこう語っ
た。「孫の幸せのためには命を

（堀英彦）

る。それを相談できなかつたり
無理して育てよつとした結果、
小さな命が奪われる。赤ちゃん
縁組はそれを救える」と話す。
厚労省は11年、「特別養子縁
組を前提に、出産した病院から
直接里親に託す方法が有用」と
全国に通知し、赤ちゃん縁組の
推進を掲げた。

ただ現実は同省研究班の調査
によると、特別養子縁組のあつ
せんを13年度に実施した児童相
談所（児相）は6割弱で、新生
児に限ると約2割にとどまる。

「取り組みたいが、赤ちゃん
を産むと、心変わりする母親も
いる。乳児院に預け、時間をう
くることも必要」（本県の児相
担当者）との考え方はあるが、
赤ちゃん縁組に取り組む社会福
祉士の矢満田篤一さん（81）は愛
知県では反論する。「性知識の
欠如や暴力で妊娠させられた女
性もいる。中絶の時期を逸して
相談に駆け込む妊婦は『とにかく
おなかの赤ちゃんを何とかし
くして』と必死だ」と訴える。

昨年10月の裁判。被告は声を
震わせ、犯行の動機をこう語っ
た。「孫の幸せのためには命を

（堀英彦）

「ねえ見て」。冬休みの午後、

小学生の女の子2人が、廊下で

縄跳びを始めた。リビングでは、

別の女の子がソファに腰掛けな

がら、録画しておいたアニメ映

画「時をかける少女」を楽しん

でいる。リビングとつながる台

所には、エビフライにつけるタ

ルタルソースを、スタッフと一緒に

作る子どもの姿。温かい家庭の風景だ。

越前市行松町の児童養護施設

昌統括所長(49)。集団入浴や集団給食といった、決められた時

は施設を『学園』と呼んでいた

が、今は『おうち』や『いえ』と呼ぶようになった」と橋本達

家族の形

福井の特別養子縁組

- 6 -

「一陽」は2011年、県内で初めて、子どもが少人数のグループで暮らす「小舎制」施設として開所した。4～17歳の39人が、五つのグループに分かれている。マンションのように部屋ごとに玄関、リビング、キッチン、風呂、トイレを備える。小学高学年以上には個室を設けている。

前身の施設は、今でも主流の集団生活形式の大舎制で、個室で暮らしている子どもの割合は、過去最悪の16・3%(12年)

間の日課やルールもなくなった。

■ ■ ■

子どもが施設に入所する事情

は虐待、ネグレクト(育児放棄)などさまざまだが、一陽の里親支援専門相談員、明石秀美さんは「経済的困難が背景にあるケースが多い」と分析する。

厚生労働省によると、国民の平均的所得の半分に満たない世帯で暮らしている子どもの割合

養護施設理想は通所

を占め、韓国でも4割を超える。このため、日本は29年度までに3割に引き上げる目標を掲げている。

ただ、抑圧を受けた子どもた

ちは「いつ殴られるのか」「いつ飯が食べられるのか」など

と、常に警戒心を抱きながら生

活してきたため、人間関係を築

けないケースがある。米国では、

里親に引き取られてもうまくい

かず、複数の里親家庭をたらい

回しにされることが社会問題化

しているという。

一陽では現在、明石さんが中

心となって入所児と里親とのマ

ッチングを模索している。橋本

統括所長は「今後は施設と里親

の連携がより重要ななる」と方

を認める。

子どもが学校帰りに施設に立

ち寄り、「ご飯を食べて風呂に入

り、宿題を済ませてから家に帰

る。同時に施設のスタッフは専

門家として子ども、実親、里親

の心をケアする」。橋本統括所

長は理想を思い描きながら、こ

う提案する。「高齢者福祉でい

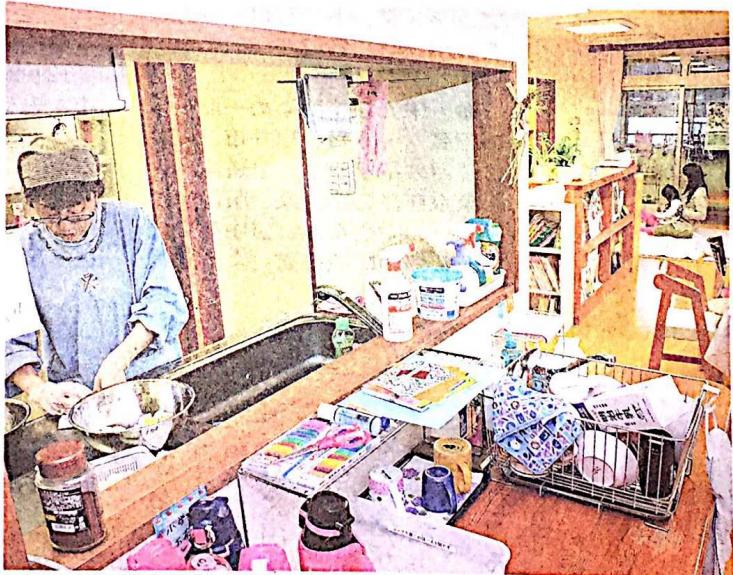
えば、通所介護のように施設を

いつでも利用できる取り組みを

支援する制度が必要ではない

か」

里親との連携模索



台所やリビングがつながった空間で少人数の子どもが生活している児童養護施設「一陽」=1月、越前市行松町

まとめ）。ひとり親世帯に限定する54・6%を占め、さらに近所の人たちとの関係も断絶してしまう」と安易な施設依存に深刻になる。

一陽は、こうした子どもたちの大好きな受け皿になっている。

日本の里親委託率は約15%だが、明石さんは「入所は家族と、先進国に比べて極端に低い。米国や英国、豪州では7～9割

か」

(堀井彦)

予期しない妊娠をした女性の相談に乗り、里親との縁結びを行なう「赤ちゃん縁組」。先進的な取り組みを行なっている愛知県の児童相談所（児相）に長年勤務し、定年退職後も里親の相談活動を続けている社会福祉士の矢満田篤一さん（81）は「生まれたときから里親が育てる赤ちゃん縁組は、子どもにとって、特定の人との愛着形成ができる。全国の児童相談所はもっと積極的に取り組んでほしい」と訴える。

がない

——全国の児童相談所では、この手法があまり広がっていないと聞く。現状は、「予期せぬ妊娠をした他県の女性が、近くの児童相談所に相談したら『乳児院に入れてあげるから、産んでから相談に来な

家族の形

- 7 -

一赤ちゃん縁組のよい点は、「赤ちゃんが里親に対して『」の人は自分の欲求や感情を理解

さう』と言われた。それで私のところに相談に来たケースがある

とで、自然に親になる。施設から子どもを受け入れる里親の場合は、育てる自信がないといつて、施設に送り返すケースがあるが、愛知県の赤ちゃん縁組ではこうしたことを聞いたこと

の情報収集ができる。生みの母も考える時間ができ、適切な方策を選べるのでは。

「例えば暴力による学生の妊娠ケースでは、考える時間を与える行為は、不安状態を放置し

赤ちゃん縁組推進を

A portrait of Shigenobu Yamada, a man with glasses and a suit, smiling.



は、不妊治療経験者が多い。
「晩婚化が進んでおり、妊娠しやすい年齢を逃して結婚している男女が多い。そして不妊治療がうまくいかず、高齢になつて養子縁組を希望するケースがある。子どもの立場を代弁すれば、生涯を通して親子で過ごせる時間が長い40歳以下の若い里親の方が良い。よく考えて選択してほしい」（おわり）

「養子縁組をした後、誰にも

矢満田篤二さん(社会福祉士)に聞く

取材ノート

声なき声耳を傾けて

福度日本一の福井にできないはずはない。

1週間に1人。子どもの虐待ではないから」と言つた。特別養子縁組が特別なものでも何でもない社会の実現を望む思ひたないまま、生後わずかで亡くなっている。

今回の連載では、3組の家族が実名で応じてくれた。ある人は「別に悪いことをしているわ」。わが子として育てる赤ちゃん縁組は、子の未来を開く有効な選択肢だと思う。愛知にできて幸

など、大人の社会では厄介な問題が二の足を踏ませる。「あるべき姿」や理想が頭にあっても組織（世間）の中では身動きが取れないという、もどかしさを抱えた人もいるかもしれない。でも、もう一度声なき声に耳を傾け、考えてみてほしい。（堀）